

ルチアめる

病院・介護施設が 精神科病院と連携するメリット



精神科デイケア・デイナイトケア・ショートケア

- 精神科デイケアとリワーク
- FOCUS / やってみよう!! 音楽療法レクリエーション
- 聖ルチア病院のプロフェッショナル / 外来看護師

精神科デイケア

デイナイトケア ショートケア

聖ルチア会の4つの「在宅支援施設」では、住み慣れた場所での暮らしや社会への復帰を支援しています。今号では、精神科デイケア・デイナイトケア・ショートケアについてご紹介します。



精神疾患のある方が、ご自宅や施設から通って、日常生活を送る上で必要なスキルを身に付けたり、仕事や学校への復帰をめざすためのリハビリテーションを行っています。利用者様の目的や目標に対応できるよう作業療法士、看護師、公認心理師、精神保健福祉士などの専門職が支援しています。40種類の豊富なプログラムから、それぞれの目標や年齢、体の状態、趣味嗜好に合わせて選択し、リハビリを行います。児童から高齢者まで、様々な年代や疾患の方にご活用いただけます。



スポーツでは楽しみながら体力づくり



軽音楽部。趣味や好きなことをとり入れたプログラムも人気



カフェでは接客の練習などを行い、就労継続支援事業所B型利用へのステップアップを目指しています

5つの疾患別 デイケアスタート！

デイケアでも5つの疾患別（うつ病、児童思春期疾患、依存症、統合失調症、認知症）の専門プログラムがスタートしています。今回は、「児童思春期疾患」と「依存症」のプログラムをご紹介します。

◎児童思春期デイケア

発達障害や児童のためのソーシャルスキルトレーニングについて学び経験を積んだスタッフが、児童思春期専用のプログラムを実施しています。週2回の「クッキング」では、コミュニケーション能力や協調性を育みます。学校の学習のサポートもしています。まずはデイケアに通うことで、家から出て人と関わる練習をします。徐々に学校に戻れる利用者様も増えてきました。



◎グラジオラス（依存症デイケア）週2回

依存症について学んだり、アルコールなど依存の対象物をまた始めたくなったときの対処方法などを、同じ状況の方と話します。依存症の再発防止には、プログラムや

一緒に頑張る仲間との交流を続けることが、最も重要です。依存症専門のプログラムと他のプログラムを組み合わせることで体力やコミュニケーション能力を向上したり、就労支援を受けるなどして、社会復帰を目指します。

リワーク

— リワークとは

リワークとは、職場復帰に向けたリハビリテーションです。当院では、現在お仕事を休職されている方の職場復帰を「リワーク」と呼んでいます。（※一度退職された方、これから就職を目指す方の支援も、リワークと別に行っています。）

一度休職して入院治療・自宅療養をしていると、集団生活になじめなかったり、ブランクで能力がうまく発揮できなかったりすることがあります。急に職場復帰すると、再発や再休職になるケースも多いです。そうしたことを防ぐためにも、復職までの準備が重要です。



— 聖ルチア会のリワーク

1 | 心理教育

週3回の「リワークプログラム」では、自分の疾患について理解し、ストレスへの対処法や再発の予防方法を、専門スタッフと一緒に考えます。職場でのことだけでなく、これまでの人生曲線をじっくりと振り返って、自分の考え方のクセを理解することで、自分にとって最良の問題解決方法を見つけていきます。

2 | 体力やコミュニケーション能力を身に付ける

職場復帰のためには、体力やコミュニケーション能力を身に付けることも重要です。当法人では、リワークプログラムに加えて、当デイケアの他のプログラム（運動や趣味嗜好にあったもの）にも参加して、他の利用者様との交流や、体力づくりをすることをお勧めしています。

3 | 職場の環境調整と復職後のサポート

実際に復職する際には、心身への負担を減らすため、短い時間や出勤日数から始める「リハビリ出勤」という制度があります。「リハビリ出勤」をするためには、主治医の見解を職場に提出する必要があります。リハビリ出勤から始めるために、どのように主治医に依頼すると良いか、どのくらいの頻度で始めるかなども、一緒に考えます。

復職後も、リワークプログラムの日に合わせて診察日を設定し、継続してサポートを受けている方もいます。

他院で治療中の方もご利用いただけます。復職支援にお困りの精神科医療機関の先生、企業の担当者様や産業医の先生方もぜひご相談ください。

リワーク利用者の声

利用者の悩みごとや不安を議題にして、具体的な対処法を専門スタッフから学べ、同じ境遇の利用者の話を聞けるのが良かった。（40代男性）

リワーク利用者の先輩から「こういう事が困った、こういう準備をしておく良かった」とアドバイスをもらえた。（20代女性）

「リハビリ出勤」という制度を知ったことで、復職へのハードルが下がり、心身の余裕につながった。復職後も相談に乗ってもらえてとても助かった。（40代男性）



最初は「本当に職場復帰できるのか」と、不安になられている利用者様が多いですが、これは情報不足で先の見通しが見つからないことが原因です。リワークプログラムを通じて、同じ状況や先に職場復帰した利用者様とオープンに話すことで、徐々に不安も減り、ほとんどの方が再休職や離職をせずに復帰されています。復帰後も、相談に来ていただけるのはとても嬉しいです。私たちが継続してサポートしていきますので、ぜひご相談ください。

リワーク担当・作業療法士
日本うつ病リワーク協会基礎コース修了
津留崎 瑞貴

精神科デイケア・
デイナイトケア・ショートケア
0942-33-3900

〒830-0048
福岡県久留米市梅満町1003

精神科疾患は早期発見、早期治療が大事なので、気持ちの面で変化を感じている方は早めに当院にご相談ください。退院促進はもちろん、心身の負担や不安なく、日常生活に戻るためのサポートをしっかりとさせていただきます！



精神科デイケア課長 認定作業療法士 越智 哲平

神代病院と 聖ルチア病院の連携体制

～病院・介護施設が精神科病院と連携するメリット～



医療法人三井会 神代病院



神代病院の待合室



高齢者複合施設くましろ館には、サービス付き高齢者向け住宅、小規模多機能型居宅介護、通所介護（デイサービス）などがある



高齢者複合施設かねしま館では、訪問看護（リハビリ）、訪問介護、訪問入浴、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護などを行っている

久留米市の北野・大刀洗地域で医療・介護サービスを幅広く展開する医療法人三井会神代病院。
神代病院と当院は協力関係を築くことで、患者様に必要な専門治療を提供し、
退院後は患者様に合った暮らしに戻れるようサポートしています。

医療法人三井会（久留米市北野町）は、神代病院を中心に、グループホームやサービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、小規模多機能型居宅介護、デイケア、デイサービスなど様々な介護サービスも展開されています。病院では今年7月に12床増床した回復期リハビリテーション病床（45床）と、地域包括ケア病床32床とで、在宅復帰のサポート体制を強化し、訪問看護、訪問介護、訪問リハ、訪問入浴などのサービスにも注力することで、患者様がいつまでも住み慣れた地域で暮らすための医療・介護提供を実践されています。

神代病院と当院は、車で約30分と少し距離がありますが、両院の地域連携室を中心に顔の見える関係があり、協力体制を築いています。例えば神代病院からは、精神疾患の疑いがある患者様を当院にご紹介いただいています。また、神代病院の関連法人の介護施設に、当院の精神科医が定期的に往診に伺っています。

神代病院からご紹介いただいた患者様や、当院の入

院患者様で神代病院の近くにお住まいの方などは、退院後の受け入れについてご相談しています。神代病院は様々な介護施設や在宅支援サービスをお持ちなので、当院を退院後、一旦神代病院に入院して、それぞれの患者様に合った生活が送れるように、退院などのサポートをいただいています。

精神科との連携は 診療報酬でも評価されています！

今年（2022年）度の診療報酬改定で「こころの連携指導料（I）」が新設されました。精神疾患が増悪するおそれがある、又は精神科・心療内科を担当する医師による療養上の指導が必要であると判断された患者様に関して、患者様の同意を得て、かかりつけ医から精神科・心療内科に診療情報の文書による提供等を行った場合に算定できます。

こころの連携指導料（I） 350点

- 患者1人につき月1回算定可
- 初回算定日の属する月から起算して1年を限度に算定可

神代病院地域医療連携センター
医療介護連携科科长

三橋 優介さん コメント

外来の患者様や、介護施設や障害者支援施設の患者様で、もともと精神疾患がある方、精神的なケアが必要な方には、聖ルチア病院をご紹介します。当院には精神科がないので、的確で専門的な治療を提供していただけて、頼りにさせてもらっています。ご紹介した患者様は、しっかり治療していただき、退院後、良い状態で戻って来られる方が多いです。

聖ルチア病院の地域連携室の方とも顔見知りになり、やりとりや相談をしやすい関係ができています。患者様の状況をお伝えすると、それに配慮した細やかな対応をしていただいていますし、相談の際はレスポンスを早くいただけるので大変助かっています。例えば患者様の外来受診中にお電話してご



▲神代病院の医療介護連携科



医療介護連携科の三橋優介科長▶

相談し、患者様をお待たせせずに受け入れていただくこともあります。ときには、週末にご相談して土日の入院を受け入れてもらうなど、無理なお願いを聞いてもらうこともあります。これからもしっかり連携しながら、患者様と一緒にサポートしていきたいです。

聖ルチア病院より

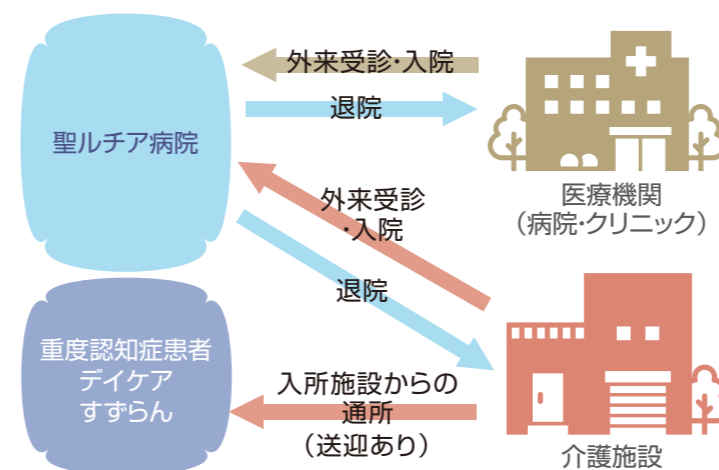


神代病院様には以前からお世話になっていましたが、ここ数年で顔の見える関係がより強化されて、昨年度から患者様のご紹介もさらに増えています。当院は介護保険施設を併設していないため、地域の施設との連携も欠か

地域医療連携室室長 中園 ルミ子

せません。医療法人三井会の介護保険施設は、母体の神代病院がしっかりサポートしていただけるので、私達も安心して紹介しています。今後も連携を図りながら患者様の心と体の健康と一緒にサポートしていきましょう！

病院、介護施設様から、こんなご相談お受けしています



医療機関（病院・クリニック）

- 精神疾患の疑いがある患者様について受診相談をしたい
- 入院患者様の認知症の周辺症状が激しく困っている

介護施設

- 精神疾患（疑い）がある入居者について相談したい
- 入居者の認知症の周辺症状が重くなり困っている
- 認知症の入居者の昼間のデイケア利用を考えている

※当院を退院後の患者様をお受けいただく際には、精神疾患に関する適切な対応方法など、しっかりとサポートいたします。

聖ルチア病院「地域医療連携室」にご連絡ください (代表)0942-33-1581

今最も注目の情報にフォーカス!

FOCUS

音楽を聴くと、リラックスしたり慰められたり楽しい気持ちになることはありませんか。音楽の力を使って心身の状態を良くしたり、より良い生活を目指す「音楽療法」というものがあります。今回は、音楽療法を取り入れたレクリエーションを紹介します。



認定音楽療法士
山口 三佳

音楽療法とは

音楽には、人の生理的、心理的、社会的、認知的な状態に作用する力があります。音楽療法は「音楽の持つ力」と「人との関わり」を組み合わせた活動です。心の安定や、精神的な成長、円滑なコミュニケーション、認知症予防、言語や体のリハビリなど様々な効果が期待できます。

どんな効果がある?

歌ったり演奏したりすると楽しい気持ちになることはもちろん、合唱や合奏は協調性を育む効果もあります。好きな音楽について話すことで、患者様がスタッフに心を開くきっかけになるなど、信頼関係づくりにも効果的です。特に認知症の方には、周辺症状の緩和につながるなど多くの効果があります。

音楽療法を取り入れたレクリエーションにチャレンジ!

音楽療法士が
紹介のポイントを
ご紹介します!

音楽療法士などの専門職がいなくても、音楽療法を取り入れたレクリエーションをすることができます。今回は、高齢者や認知症の方が多い施設におすすめの方法をご紹介します。ぜひチャレンジしてみてください。

音楽療法の効果 (認知症・高齢者)

- ★楽しみながら認知機能を維持・改善
- ★気持ちが安定し、おだやかになる
- ★認知症の周辺症状の緩和につながる

事前の準備

- 歌詞(掲示または歌詞カード)
- 伴奏(カラオケ音源または楽器)
- 曲の情報や時代背景を調べる

POINT 1 「歌う」のが おすすめ!

音楽療法には歌唱や楽器など様々な方法がありますが、認知症の方は馴染みのないことへの抵抗感が強いので、楽器よりも「歌唱」がおすすめです。最初は童謡や季節の歌などから始めて、徐々に歌謡曲や演歌などに挑戦してみましょう。

POINT 4 歌詞を掲示

歌詞をホワイトボードや模造紙に書くなどして掲示しましょう。よく歌う曲は、冊子などにまとめて歌集などをつくっておくと繰り返し使用できます。

POINT 2 曲選び

馴染みのある曲や思い出深い曲が良いです。参加者の若いころ、特に20代ころのヒット曲がおすすめです。演歌やデュエット曲は盛り上がりやすいです。

POINT 5 伴奏は 「ゆっくり」「低め」

伴奏はアレンジされたものよりも、オリジナルに近い方が良いです。カラオケの音源を使用しても良いですし、楽器を弾けるスタッフがいれば、伴奏してみましょう。高齢者の場合はゆっくりめに、音程を少し低く(コードを下げて)弾くと歌いやすいです。

POINT 3 たくさん質問する

認知症の方は、昔の記憶はよく覚えておられる方が多いので、歌う前に、曲を聴いていた当時は思い出すような質問をすることで、脳の動きが活発になります。

- 例) ○この曲の歌手は誰でしたか?
○何の映画の曲でしたか?
○この曲が流行ったころ、
どんなことがありましたか?など

曲の時代背景などはインターネットで簡単に調べることができます。歌詞だけを見せて曲名を尋ねたり、イントロを流して曲名を尋ねるのも良いです。

音楽療法や音楽レクリエーションについて分からないことがあれば、当院の音楽療法士にお気軽にお問い合わせください。

代表番号 0942-33-1581 (担当: 山口)

聖ルチア病院を

共に支えてくれる



vol. 7 鳥飼校区まちづくり協議会

会長 丸山 博史 さん

久留米市には46の学校区があり、それぞれの校区に、まちづくり協議会や振興会、連絡会があります。聖ルチア病院がある「鳥飼」校区では、「鳥飼まちづくり協議会」が、成人式や納涼祭、球技大会などの行事の運営をサポートするほか、防災や防犯、福祉などの地域の様々な課題解決に取り組まれています。

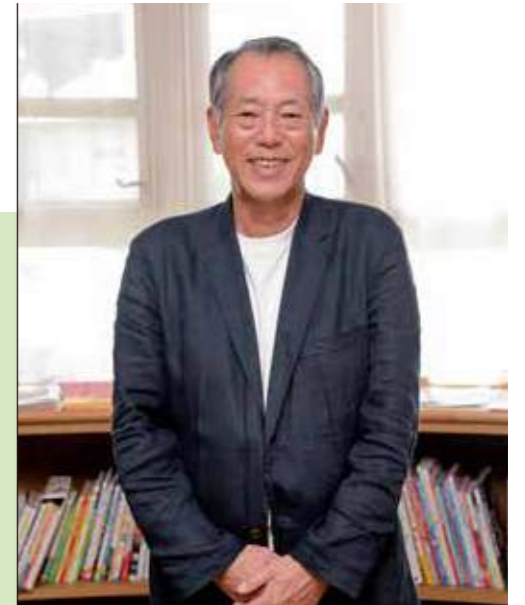
○丸山博史さんコメント

全国の2025年問題と同様に、鳥飼校区でも近年高齢者がとても増えていますので、協議会でも毎月、高齢者を対象にしたサークルなどを開催しています。聖ルチア病院さんには、認知症予防の講座や運動のレクチャーをしていただいています。

高齢者の単独や夫婦のみ世帯も多いので、介護予防や認知症予防はもちろん、成年後見制度などにも目を向けています。また、学校では各学年に特別支援学級が設けられるなど、昔とは違ってきていて、子どもたちへのサポートも重要だと感じています。聖ルチア病院さんには、こうした地域の方へのサポートに、今後もぜひ力を貸していただきたいです。

鳥飼校区まちづくり協議会

地域の活性化と安全・安心のまちづくりのための、地域住民による協議会です。協議会では、地域のために活動してみたい方を募集しています。



団体情報
鳥飼校区まちづくり協議会
〒830-0048
福岡県久留米市梅満町1223-1
TEL 0942-33-4534

INFORMATION

インフォメーション

ホームページをリニューアルしました!

夏に当院のホームページを全面リニューアルしました!

ルチアめーるでもご紹介してきた「5つの疾患別専門治療」や、「在宅支援施設」についても詳しくご紹介しています。入院についてや、採用情報の各職種のページには動画もあり、より当院の雰囲気を感じていただけるようになりました。ルチアめーるのバックナンバーも読めます。ぜひご覧ください。

ホームページのリニューアルと同時に、SNSも開設しました!これからどんどん投稿しますので、こちらもぜひチェックしてみてください。



▲PC版ホームページ

▲スマホ版ホームページ

SNSもオープン!!



Twitter



Facebook



Instagram

聖ルチア病院
ホームページ
<https://st-lucia.or.jp>



外来看護師は、外来患者様がスムーズに適切な治療やサービスを受けられるようにサポートしています。具体的には、初診の患者様の情報を医師に的確に伝えて、受診や入院の準備を行い、診察室では医師のサポートをします。また、患者様の状態をしっかりと把握し、医師の指示のもと必要な栄養指導や外来の作業療法、訪問看護などにつなぐ役割も果たします。その他に、調子が悪くなった患者様からのお電話に対応して適切な処置につなげることもしています。

外来看護師は5人と少ないですが、常に情報を共有し、正確で迅速な仕事を心がけています。

▼外来看護師同士で常に情報共有をしています



▲患者様の状況を的確に把握して、医師の診察や多職種のサポートにつなげます

待合で困ったことがあれば すぐにお声かけください

病院が新しくなり、診察室が増えて待合も広くなりました。プライバシーに配慮し、受付番号で患者様のお呼び出しをしています。患者様が待合でも快適に過ごせるように、外来看護師が順次巡回して患者様のお話を伺っています。何かありましたら遠慮なくお声かけください。

連携先の皆さまへのメッセージ

当院は、幅広い精神科疾患のそれぞれに的確で専門的な治療をできる体制を整えています。特に5つの疾患(うつ病・児童思春期疾患・依存症・統合失調症・認知症)については体系的な治療を行っています。精神疾患に関することは、なんでもお気軽にお問い合わせください。

外来看護師長 幸若 美智子



《対象疾患例》

統合失調症

気分障害
(うつ病)

認知症
関連疾患

児童思春期
発達障害

依存症
(アルコール・薬物)

周産期の
メンタルヘルス

てんかん

摂食障害

《診療時間》

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:30 (受付時間 8:30~12:00)	○	○ rTMS 外来	○	○ rTMS 外来	○	○	×
14:00~17:00 (受付時間 13:00~16:00)	○	○	○	×	○	×	×

受診相談 「患者様のご紹介」「初めての受診」

受診相談窓口 **地域医療連携室**
受付時間 **月~土曜日 9時~16時**

緊急時は夜間、日祝日も対応します。
まずはご連絡ください。



社会医療法人 聖ルチア会
聖ルチア病院
St. Lucia's Hospital

〒830-0047 福岡県久留米市津福本町1012
TEL0942-33-1581 (代表)
FAX 0942-33-1586

関連施設

- ・精神科デイケア、デイナイトケア、ショートケア
- ・重度認知症患者デイケア すずらん
- ・訪問看護ステーション クローバー
- ・訪問看護ステーション クローバー おおき
- ・グループホーム ルピナス

